（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	トータスジュニア上三川

公表日　R8年　4月　1日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		パーテーションなどで集団ごとに区切って療育を行えている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			職員の配置数は適切であるが、男女のバランスが課題である
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		展示物を減らしたり、パーテーションなどを用いることで、視覚的なノイズを減らし集中できる環境つくりを行っている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こだち達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎朝、掃除をしておりきれいな事業所つくりを心掛けている。	床のマットがにテープの跡が残ってしまっているので張り替える必要がある点
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		落ち着かない子様が使える個室を用意している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月の目標を職員会議を通して話し合い、目標を設定している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		保護者様のご意向に耳を傾け、評価表以外にも申し送りなどで意向を確認するように努めた。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		職員会議を通して職員全体で意見を出し合い、業務改善につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		現在、第三者のかに評価を行っていただいたことがないので、行えるような体制を整え改善していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内の同じ事業所に集まり、療育の運動の部分の模擬授業を思ない、職員全体で資生上げられるような研修の機会がある。	
適切な支援の提供	11	適応に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		支援プログラムを作成し、必要な情報を公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		アセスメントを適応に行い、お子様と保護者様のニーズや課題を踏まえたうえで計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		ケース会議などを行い、職員全体で情報共有の場を設け、検討を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		計画内容は職員全体で共有を行い、計画に沿った支援を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		標準化されたツールや日々の観察やフィードバックを通して、子どもの状況を組織的に把握をしている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、そのうえ、具体的な支援内容が設定されているか。	○		ガイドラインを踏まえ、本人支援・家族支援・移行支援・地域連携の視点も取り入れ、具体的な支援内容を設定していた。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員会議を通して職員全体で年月のレクリエーションや日課の内容をどうしていくのかを考え、実施している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		日課の種類の内容を変更をしたり、固定化しないような工夫をしている。	日課の大枠の変更をしないで、内容のみの変更になってしまうため、固定化になりそうという課題がある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		個別活動と集団活動を状況に応じて組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		支援開始前に職員間で打ち合わせを行い、指導案や進行役、ザブの職員の役割を決め、確認をし支援を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		支援終了後には職員全員でその日のフィードバックを行い、気づいた点や、良かった点、改善点を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		日々の支援の記録を取り、フィードバックの際に改善点につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		定期的なモニタリングを実施しており、お子様や保護者様にニーズを話ます、見直しを行い、放課後等デイサービス計画書を作成している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		ガイドラインの4つの基本活動を踏まえていくつか組み合わせて支援を行うことができている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		子どもが選択できる場面を設け、本児の自己決定を尊重した支援を行っている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所やサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		その子ども毎よく理解している職員が参加するように努めている。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		○		現時点では、十分な連携を取るための体制は許されていないが、必要に応じて体制を整え、今後の体制強化につなげたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		学校によっては情報共有が適切に行われている。	できている学校とできていない学校ある。利用者のいる学校すべてと適切に情報共有ができるようにアプローチをしていく
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		○		現在、就学前に利用していた園や事業所との間で情報共有ができていないので、相互理解を深めるためにも努めていきたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等、連携しているか。	○		移行する場合は、きちんとそれまでの支援内容の情報の提供ができている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		○		現在、スーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けることができていないので、設けられるように地域の児童発達センターと連携を図っていきたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の色のこどもと活動する場合があるか。		○		地域の色の子どもと活動する場合が設けられていないので、交流ができるように放課後児童クラブや児童館とも共生を図っていきたい。
	33	（協立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		○		協議会への参加は積極的に行っていないので、今後参加できるように調整をしていきたい
保護者への説明等	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎やお迎えに来られた際に、本日の活動の様子を細かくお伝えし、課題について共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		情報提供ができていないので、家族等の参加できる研修の機会を増やしていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		体験や見学、契約の際に運営規定や支援プログラム、利用者負担について丁寧な説明をできるように努めている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		放課後等デイサービス計画書を作成するにあたり、子どもや保護者様のご意向を確認する場を設けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		計画書の内容を説明し同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な際に支援を行っているか。	○		家族等からの子育ての悩み等に対する相談はが要に応じて適切に対応をしている。	相談には適切に対応し、面談なども実施はできていますが、設定までは難しい、そのため、設定できるように職員間で話し合っていきたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい児も交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	きょうだい児１名の交流はレクリエーションを通して行うことができいている。	父母の会のような保護者同士で交流する機会等設けられていないので、設けられるように企画、実施をしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		子どもや保護者様からの苦情があった場合は、職員間で共有を行い、体制を整え、迅速に対応ができていた。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		SNSを活用し、活動の様子や翌月の利用予定、レクリエーションなどを保護者様に発信することができた。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の管理は徹底して行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		特性に配慮し、分かりやすい情報伝達を心掛けている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域住民を招いた行事等を実施していないため、今後は地域とのつながりを意識した行事等を行っていきたい。
非常時等の対応	46	感染防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルに沿って訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、定期的に避難訓練などを実施し非常災害に備えている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約の際に保護者様から確認をしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応が行われているか。	○		食物アレルギーについては、医師の指示に基づき対応をしている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、安全管理の徹底をしている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		子どもの安全確保に関して、安全計画に基づく取り組み内容を家族に周知ができている。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハットをフィードバックの際に共有し、再発防止に努めている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止のための研修を実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明した上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		身体拘束については組織的に判断し、契約の際に説明をしている。	